

経済水道委員会 2011年度決算審査 さはしあこ議員



徳山ダム 導水路

「水は余っている」
見直すべきところはムダな大型事業

経済水道委員会の決算審査で、さはしあこ議員は水道事業の実態についてたどりました。

節水努力が実を結び、渇水時にも対応

名古屋市の上水道では、木曾川流域の水利権だけで160万m³/日の給水能力があります。2011年度決算では、日平均給水量は約78万m³、最大でも89万m³でした。当局は、異常渇水時に備えて水源確保が必要と理由をつけて、長良川河口堰や徳山ダムの水が必要だと言っています。しかし、昨年当局が提出した10年に一度の渇水時でも、給水力は106万m³/日で

水道事業の概要（各年度決算）

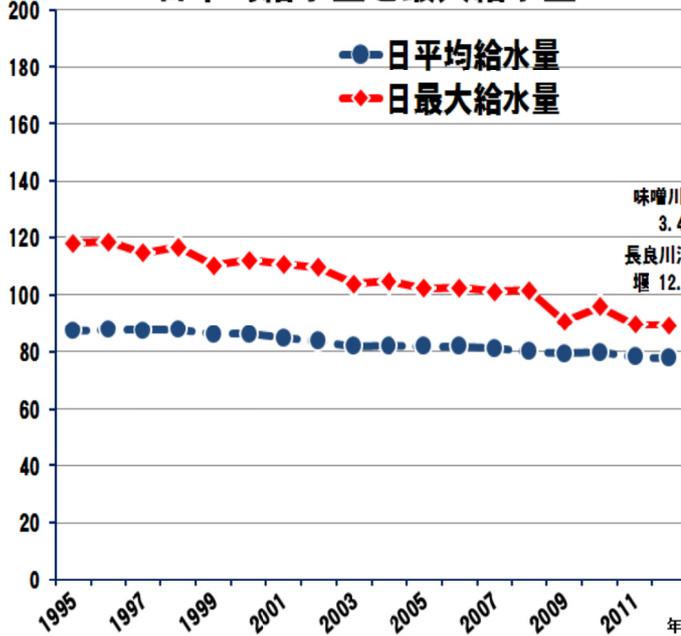
	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
給水人口	2,375,915人	2,381,707人	2,388,316人	2,388,959人
1日平均給水量	800,721m ³	792,684m ³	796,562m ³	782,211m ³
1日最大給水量	1,015,870m ³	905,970m ³	959,165m ³	895,563m ³

す。さはし議員は「長良川河口堰からの取水は一度もない」と事実を示し、「長良川河口堰や徳山ダムからの取水は必要ない」と指摘しました。

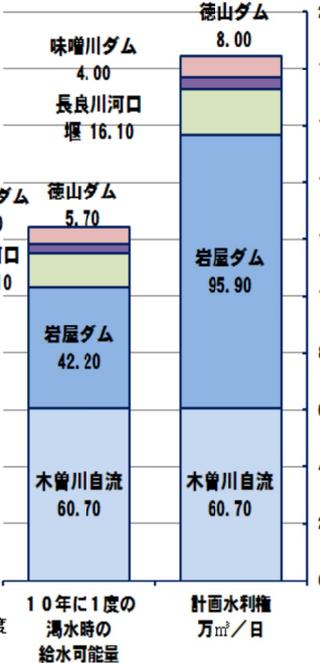
豪雨や浸水対策
地震の備えなどを優先に

東日本大震災や豪雨災害時に水道局の職員は被災地支援に全力で取り組んでいます。使わない水の活用を考えるより、技術者の育成や設備投資に力を入れ、災害時にきちんと対応できるように、仕組みづくりをすることが必要です。

万m³/日 日平均給水量と最大給水量



名古屋市の水利権(2011年度 万m³/日)



2012年度水道会計予算に見る水源関連予算
(債務負担行為額など)

水源	総事業費	名古屋市負担	支払い済み	支払い予定
徳山ダム	3500億円	206億円	1998~2011年 146億円	2012~30年 270億円
長良川河口堰	1474億円	82億円	1995~2011年 118億円	2012~17年 33億円
徳山ダム導水路	890億円	120億円	2009~2011年 5102万円	2012~15年 52億円

政令市の水道料金

